

授業科目名	保健授業論	単位数	2単位
担当教員名	高木由起子	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
「学位授与の方針」との関係 DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
<b>授業のテーマ及び到達目標</b> (1) 保健授業の元となる教材を探することができる (2) 教材をもとに授業の展開を作れるようにする (3) 「教える専門家」から「学びの専門家」となるよう研鑽する (4) 「主体的・対話的で深い学び」のある授業の工夫ができるようにする			
<b>授業の概要</b> 新学習指導要領では、授業に「主体的・対話的で深い学び」を盛り込んだ展開を求めている。しかし、保健の授業では「教科書を教える授業」が未だに根付いている。保健授業内容は日々の生活に"ネタ"があるが、それに気づかない。本科目では、授業をつくる上で必要不可欠な「教材」と「教材研究」についての方法を学修していくことを目的とする。			
<b>授業計画</b> 第1回 保健授業の意義を考える 第2回 授業のデザインを考える 第3回 教授方法について理解する 第4回 健康と生活習慣の単元の授業をつくる 第5回 ストレスの単元の授業をつくる 第6回 栄養と食事の単元の授業をつくる 第7回 喫煙・飲酒・薬物乱用の単元の授業をつくる 第8回 感染症の単元の授業をつくる 第9回 医薬品の単元の授業をつくる 第10回 交通事故の単元授業をつくる 第11回 応急手当の単元の授業をつくる 第12回 性教育の単元の授業をつくる 第13回 環境の単元の授業をつくる 第14回 指導案の作成 第15回 まとめ 定期試験			
<b>スクーリングでの学修</b> 「教える専門家」から「学びの専門家」となるようスクーリングを通して基礎を身につける。			
<b>テキスト</b> 七木田文彦（2021）『保健授業の挑戦—学びの創造とデザイナー—』大修館書店 9784469269055 『新高等保健体育「保体702」』大修館書店 9784469663204			
<b>参考書・参考資料等</b> 森良一（編著）（2020）『中学校・高等学校 保健体育科教育法 改訂版』 9784491039671 数見隆生（2011）『生きる力をはぐくむ 保健の授業とからだの学習』農文協 9784540011245			
<b>学生に対する評価</b> スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）			